

経営動向調査

research of management trend

Vol. 20

低水準が続き、業況感に厳しさ強まる

～業況D Iが対前期比でマイナス42.9～

調査対象期間

平成13年

4月～6月

(平成13年度第1四半期)

〈本調査に関するお問い合わせ先〉
熊本商工会議所 情報調査課
TEL 354-6688

〈結果概要〉

全業種の業況D Iは、対前期比（平成13年1月～3月）で平成13年3月期の前回調査よりも2.1ポイント悪化しマイナス42.9となり、熊本市域の小規模企業全体の業況感、一層厳しさを強める結果となった。なお、対前年同期比（平成12年4月～6月）は平成13年3月期の前年同期比の結果に対し8.2ポイント悪化し、マイナス50.0だった。

株式市場は依然として停滞、雇用面も企業倒産、リストラなどの影響から改善の兆しが見えない状況が続く中、全体的な悪化幅は小さいものの、依然として低水準の業況D Iが継続する結果となっている。

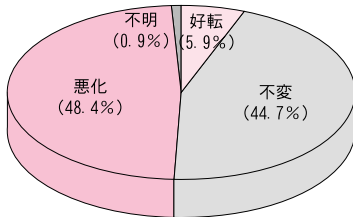
調査対象

熊本市内小規模
企業292事業所と
FAXネットワーク

（小規模企業とは、商業・サービス業は従業員5人以下、それ以外の業種は20人以下の企業のこと）

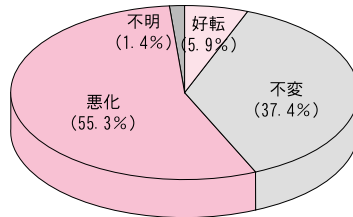
全産業の業況（H13/4～6月）

対前期比
(平成12年1月～3月)



D I = ▲42.9 (前回▲40.8)

対前年同期比
(平成12年4月～6月)



D I = ▲50.0 (前回▲41.8)

悪化

・個人消費の低迷
・雇用不安

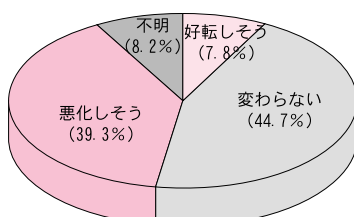
好転

・情報関連投資の持続

来期（平成13年7月～9月）のイメージ

来期の業況見通し

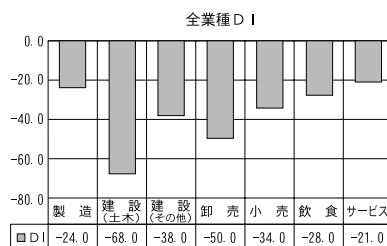
(平成13年7月～9月)



D I = ▲34.3 (前回▲36.0)

(産業別) 来期の業況見通し

D I = (好転企業割合) - (悪化企業割合)



全産業における来期（平成13年7月～9月）の業況見通しD Iは、マイナス34.3と依然として低水準となったが、前回調査からは1.7ポイントとわずかながら好転した。業種別では、製造業ではほぼ横ばいだったが、建設業では公共工事の減少、受注単価の下落などが予想され来期見通しが悪化、受注単価の下落の低迷など来期見通しが悪化。長引く個人消費の予測されは、一方、飲食店、サービス業については、夏場にかけての季節的需要が予測されることで、来期の見通しが大幅にプラスに転じている。

来期（平成13年7月～9月）

の見通しについて

産業別概況

製造、建設、卸売、サービスで厳しい景況感続く
飲食店のみ大幅な改善を示す

「飲食店」は年度始めにおける需要増加（新年度特需）の効果によって、営業利益が大幅に増加、業況も大幅に改善された。

「小売業」では販売単価の低下により、売上高が縮減、「建設業（職別・設備）」では、受注単価がほぼ横ばいの中、売上高、営業利益は低減し、わずかな改善に止まった。

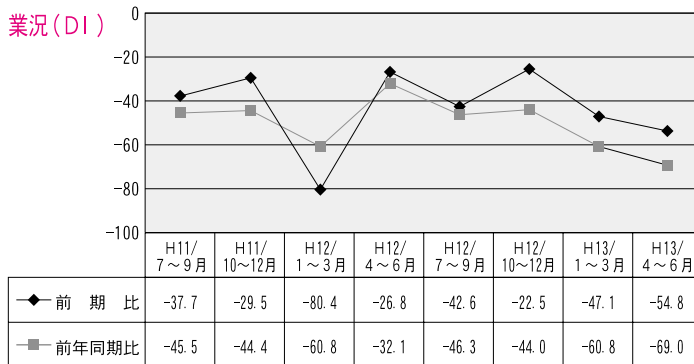
一方、「製造業」は仕入単価、受注単価ともに低水準で推移し、営業利益は大幅に低下。「建設業（土木）」は受注単価が依然として低水準のまま推移する中、営業利益は大幅に縮減。「卸売業」は仕入単価、販売単価とも低水準により、売上高も低下、「サービス業」は販売単価、売上高は若干改善し営業利益

産業別業況DI（対前期比）

	今回分 (H13. 6月期)	前回分 (H13. 3月期)	比較ポイント
製造	▲50.0	▲40.0	▲10.0
建設(土木)	▲44.4	▲35.7	▲ 8.7
建設(職別)	▲19.2	▲20.0	+ 0.8
卸売	▲58.6	▲44.8	▲13.8
小売	▲54.8	▲58.0	+ 3.2
飲食店	▲14.3	▲50.0	+35.7
サービス	▲39.7	▲33.3	▲ 6.4

小売業（売上高DI）

業況(DI)

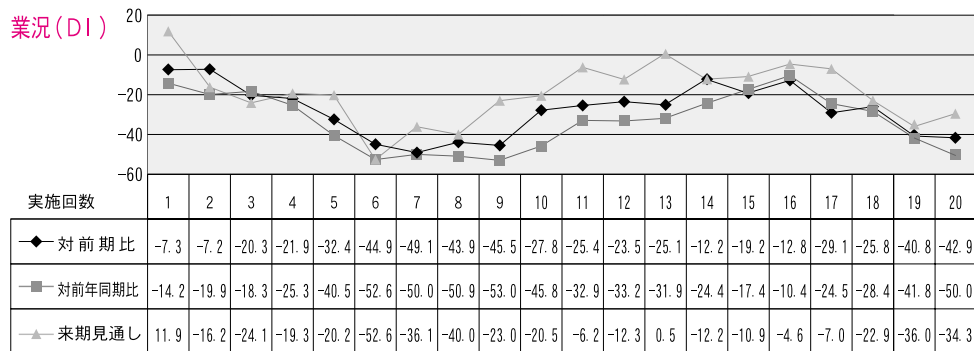


も増加したが、低水準の業況感を押し上げるまでには至らなかった。

小売業の概況

販売単価の低下により、売上高は縮減したが、仕入単価は良好な水準を維持しているため、営業利益は若干増加しかしながら全体の業況は依然厳しい状況にある。寄せられたコメントには「商店街の通行量減少や安売り店の増加の影響」などが綴られ、厳しい状況が継続している。

業況DIの推移を見る



コメントピックアップ

環境問題の規制等が厳しくな
って施設等の整備に資金が
かり利益が減少している

・い草のセーフガード決定で中国産、
国産ともに畳表が値上がりしてい
る（製造業）

・世界的なC関連の落ち込みによ
り、仕事量が減少。仕事量の波も
大きい（製造業）

・公共事業停滞の中、企業各社とも
抜きん出る企業もなく、ほとんど
変化がない（建設業）

・中元商戦に期待している（卸売業）
・価格競争がますます激しくなるだ
ろう（卸売業）

・商店街の通行量が減少傾向にあり、
小売業は厳しい状況（小売業）

本調査に、ご協力いただいでいま
す協力企業（モニター）様には心よ
り感謝申し上げます。
今後とも身近なご意見、情報をお
聞かせください。